

事務事業一覧表

施策コード	事業名称	部局名	所属名	ページ
22321	公衆便所維持管理事業	環境部	清掃施設課	2
53133	南クリーンセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	3
53133	西クリーンセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	4
53133	横谷埋立センター運営管理事業	環境部	清掃施設課	5
53133	大西谷埋立センター運営管理事業	環境部	清掃施設課	6
53133	中島リサイクルセンター運営管理事業	環境部	清掃施設課	7

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	施設維持管理担当	連絡先	948-6901
------	-----	-----	-------	-----	----------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	公衆便所維持管理事業	事業性質	1-1:自治事務(実施規定なし)		事業区分	2:委託	
22321							
基本目標	生活に安らぎのあるまち【安全・安心】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	安全に暮らせる環境をつくる		—	—	—	—	
施策	良好な衛生環境の維持						
主な取組	生活衛生の向上	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第5条				
取組みの柱	生活衛生施設の衛生水準の維持・向上						
目的・背景	≪目的≫ 当課が管理する市内14箇所に設置された公衆便所を衛生的に維持管理し、公衆衛生の保全及び市民の利便性の向上を図る。 ≪背景≫ 地元要望等によって設置						
対象・内容	≪対象≫ ・市内14箇所の公衆便所 ≪事業内容≫ ・清掃業者等に委託料を支出し、日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守点検業務を実施する。また、破損や故障時には緊急修繕工事を実施する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	し尿処理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	清掃業務委託料		4,393
予算 (千円)	事業費計	8,220	8,642	14,981					
	国費・県費								
	市債								
	その他								
	一般財源	8,220	8,642	14,981					
決算 (千円)	事業費計	7,471	8,136			主な 取組 内容 【R4】	・日常清掃・維持管理業務及び浄化槽保守 点検業務の実施 ・破損・故障時の緊急修繕工事の実施		
	国費・県費								
	市債								
	その他	14	29						
	一般財源	7,457	8,107						
人役	正規職員	0.5	0.5	1.0		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	0.5	0.5	1.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	清掃日数		目標	365	365	365	365	業務委託により適正に実施することができ、目標を達成できた。	
			実績	365	365				
	現状維持	日	達成率	100%	100%				
成果指標	公衆便所の使用不可日数 0日		目標	0	0	0	0	破損や故障には迅速に対応し、適切に維持管理することで、目標を達成できた。	
			実績	0	0				
	現状維持	日	達成率	100%	100%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	公衆便所を適切に維持管理することができ、公衆衛生の保全及び市民の利便性を向上することができた。							
課題	機器ごとの経年劣化の状態を把握し、点検や取替による適切な保守管理を行う。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、公衆衛生の保全及び市民の利便性の向上が図れるため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	南クリーンセンター維持管理担当	連絡先	971-8862
------	-----	-----	-------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	南クリーンセンター運営管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
53133							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	豊かな自然と共生する		－	－	－	－	
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進						
主な取組	ごみの適正処理の推進	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市一般廃棄物処理基本計画、松山市一般廃棄物処理実施計画				
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理						
目的・背景	≪目的≫ 松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である南クリーンセンターの運営管理及び維持管理を行う。 ≪背景≫ 南クリーンセンターの供用開始による。						
対象・内容	≪対象≫ ・南クリーンセンターの各施設 ≪事業内容≫ ・施設の運転管理業務は「荏原環境プラント株式会社西日本支店」に委託。 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「可燃ごみ」「粗大ごみ」に分類されるものを焼却・破砕し処理する。 ・ごみを焼却する際の余熱を利用して発電し、施設内で使用するとともに、余剰電力を売却する。 ・ごみを焼却する際の余熱を利用した蒸気の一部を、隣接する「アクアパレット」のプールの水温管理等に利用する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	運転管理及びごみ受入れ 業務委託料		454,080
予算 (千円)	事業費計	1,146,637	1,169,072	1,297,798			ボイラー等プラント定期 点検整備業務委託料		171,505
	国費・県費	0	0	0			焼却設備補修工事費		151,800
	市債	0	0	0					
	その他	494,312	680,416	637,403					
	一般財源	652,325	488,656	660,395					
決算 (千円)	事業費計	1,099,536	1,125,720			主な 取組 内容 【R4】	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持		
	国費・県費	0							
	市債	0							
	その他	287,534	444,031						
	一般財源	812,002	681,689						
人役	正規職員	2.0	2.0	2.0		特記 事項			
	その他	6.0	6.0	6.0					
	合計	8.0	8.0	8.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和12年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	ごみ焼却量		目標	30,113	29,636	29,255	25,447	保守点検等施設の維持管理を適切に行ったことで安定的に焼却処理でき、一般廃棄物処理基本計画に沿った焼却を概ね達成できた。	
			実績	30,510	30,126				
	単年で減	ton	達成率	99%	98%				
成果指標	環境法令等基準値超過回数		目標	0	0	0	0	適切に施設を運転することで、公害を防止し、周辺環境を保全することができた。	
			実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	—	—				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	搬入されたごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営、維持ができた。							
課題	建物や設備機器等の経年劣化への対応。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び適正な施設の運営、維持ができているため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	西クリーンセンター維持管理担当	連絡先	953-1153
------	-----	-----	-------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	西クリーンセンター運営管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
53133							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	豊かな自然と共生する		○	－			
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進						
主な取組	ごみの適正処理の推進	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市一般廃棄物処理基本計画、松山市一般廃棄物処理実施計画				
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理						
目的・背景	≪目的≫ 松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である西クリーンセンターの運営管理及び維持管理を行う。 ≪背景≫ 西クリーンセンターの供用開始による。						
対象・内容	≪対象≫ ・西クリーンセンターの各施設 ≪事業内容≫ ・施設の運転管理及び維持管理は、「松山環境テクノロジー株式会社」に委託(DBO方式)。 ・家庭等から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「可燃ごみ」「粗大ごみ(可燃性)」に分類されるものを焼却・破碎し処理する。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	施設運営業務の委託料	880,338	
予算 (千円)	事業費計	900,909	900,915	900,921					
	国費・県費	0	0	0					
	市債	0	0	0					
	その他	235,635	249,348	582,073					
	一般財源	665,274	651,567	318,848					
決算 (千円)	事業費計	880,333	881,076			主な 取組 内容 【R4】	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営、維持		
	国費・県費	0	0						
	市債	0	0						
	その他	541,641	573,217						
	一般財源	338,692	307,859						
人役	正規職員	1.0	1.0	1.0		特記 事項	なし		
	その他	4.0	4.0	4.0					
	合計	5.0	5.0	5.0					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和12年度 (最終目標年度)	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	ごみ焼却量		目標	85,350	83,999	82,919	72,127	保守点検等施設の維持管理を適切に行ったことで安定的に焼却処理でき、一般廃棄物処理基本計画に沿った焼却を概ね達成できた。	
			実績	87,135	86,509				
	単年で減	ton	達成率	98.0%	97.1%				
成果指標	環境法令等基準値超過回数		目標	0	0	0	0	適切な運営管理が行えたため、環境法令基準値の超過が無かった。	
			実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	-	-				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	搬入されたごみを適正に処理することができた。 適正な施設の運営、維持ができた。							
課題	令和5年度から、伊予市・松前町のごみ搬入が始まり、焼却処理後の副生成物である灰溶融スラグが増加することが推測される。長期的に安定した供給と有効利用先の確保が課題。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び適正な施設の運営、維持ができているため。灰溶融スラグについては、有効利用先の確保の検討を行う。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	横谷埋立センター・横谷廃棄物センター維持管理担当	連絡先	977-5235
------	-----	-----	-------	-----	--------------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	横谷埋立センター運営管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託	
53133							
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約	
政策	豊かな自然と共生する		—	—	—	—	
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進		—	—	—	—	
主な取組	ごみの適正処理の推進	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市一般廃棄物処理基本計画、松山市一般廃棄物処理実施計画				
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理						
目的・背景	≪目的≫ 松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である横谷埋立センター等の運営管理及び維持管理を行う。 ≪背景≫ 横谷埋立センターの供用開始による。						
対象・内容	≪対象≫ ・横谷埋立センター及び横谷廃棄物センターの各施設 ≪事業内容≫ ・施設の運転管理業務は「水ingAM株式会社四国営業所」に委託。 ・家庭から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「埋立ごみ」に分類されるものと、クリーンセンターから発生した焼却灰の最終処分。 ・埋立地から発生した浸出水の浄化処理。 ・浸出水に含まれる塩類を消毒剤(エコ次亜)としてリサイクル。						

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な 経費 (千円) 【R4 決算】	水処理施設諸設備点検整備業務委託料		149,050
予算 (千円)	事業費計	525,785	560,818	604,979			運転管理及びごみ受入業務委託料		104,500
	国費・県費						廃棄物センター浸出液処理施設更新工事費		33,000
	市債								
	その他	685	685	685					
	一般財源	525,100	560,133	604,294					
決算 (千円)	事業費計	472,177	476,017			主な 取組 内容 【R4】	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営・維持		
	国費・県費								
	市債								
	その他	7,942	3,779						
	一般財源	464,235	472,238						
人役	正規職員	3.8	3.7	3.5		特記 事項			
	その他	2.0	2.0	2.0					
	合計	5.8	5.7	5.5					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	エコ次亜生成量		目標	—	—	5,000	5,000	エコ次亜生成量は降雨量に左右されるので、降雨量が極端に低い年度は適用できないが、概ね例年のエコ次亜を生成できた。	
			実績	5,528	5,228				
	現状維持	m3	達成率	—	—				
成果指標	浸出水貯留池の水位 11.5m超過回数		目標	—	—	0	0	貯留池水位や気象情報から浸出水の処理量を調整し、保持限界水位11.5mを超えることはなかった。	
			実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	—	—				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	保守点検等施設の維持管理を適切に行ったことで安定的な水処理ができ、一定量以上のエコ次亜を生成して塩類をリサイクルすることができた。また、安定的に水処理施設を運転することで、未処理水を流出させることなく、周辺環境を保全することができた。							
課題	エコ次亜の生成量、浸出水貯留池の水位保持ともに、降雨量に左右される。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び適正な施設の運営、維持ができていたため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	大西谷埋立センター維持管理担当	連絡先	977-0929
------	-----	-----	-------	-----	-----------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	大西谷埋立センター運営管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	2:委託
53133						
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画 (実施計画)	総合計画 (笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	豊かな自然と共生する		—	—	—	—
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進					
主な取組	ごみの適正処理の推進	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市一般廃棄物処理基本計画、松山市一般廃棄物処理実施計画			
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理					
目的・背景	≪目的≫ 松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみを適正に処理する施設である大西谷埋立センター等の運営管理及び維持管理を行う。 ≪背景≫ 平成17年の合併により北条市から移管したことによる。					
対象・内容	≪対象≫ ・大西谷埋立センターの各施設 ≪事業内容≫ ・施設の運転管理業務は「株式会社日本管財環境サービス」に委託。 ・家庭から排出される一般廃棄物のうち、本市の定める分別区分で「埋立ごみ」に分類されるものと、クリーンセンターから発生した焼却灰の最終処分。 ・埋立地から発生した浸出水の浄化処理。					

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	水処理施設運転管理及び埋立等業務委託料		23,760
予算 (千円)	事業費計	69,925	70,802	74,884			計器監視盤ほか改修工事費	12,419	
	国費・県費								
	市債								
	その他	50	50	50					
	一般財源	69,875	70,752	74,834		No.2酸化用回転円板整備工事費	12,151		
決算 (千円)	事業費計	65,725	65,604				主な取組 内容 【R4】	・一般廃棄物の適正処理 ・適正な施設の運営・維持管理 ・経年劣化した水処理設備機器の更新	
	国費・県費								
	市債								
	その他	234	464						
	一般財源	65,491	65,140						
人役	正規職員	3.3	3.5	2.8		特記 事項			
	その他	0.0	0.0	0.0					
	合計	3.3	3.5	2.8					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	水処理施設の定期点検回数		目標	12	12	12	12	施設の適正な維持管理を行うための定期点検を確実に行う事ができた。	
			実績	12	12				
	現状維持	回	達成率	100.0%	100.0%				
成果指標	最終処分場に係る技術上の基準値超過回数		目標	0	0	0	0	適切な運営管理が行えたため、基準値の超過が無かった。	
			実績	0	0				
	現状維持	回	達成率	—	—				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	埋立地及び水処理施設の維持管理を適切に行ったことで安定的に水処理ができ、周辺環境を保全することができた。							
課題	建物や設備機器等の経年劣化への対応。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、一般廃棄物の適正な処理及び適正な施設の運営、維持ができていたため。

令和5年度 松山市事務事業シート（令和4年度実績分）

部局等名	環境部	課等名	清掃施設課	担当G	中島リサイクルセンター維持管理担当	連絡先	997-5911
------	-----	-----	-------	-----	-------------------	-----	----------

1.事業概要【Plan】

事業名	中島リサイクルセンター運営管理事業	事業性質	1-4:自治事務(義務規定あり)		事業区分	1:直営
53133						
基本目標	緑の映える快適なまち【環境・都市】	各種計画該当	総合計画(実施計画)	総合計画(笑顔プログラム)	総合戦略	市長公約
政策	豊かな自然と共生する		○	－	－	－
施策	低炭素・循環型まちづくりの推進					
主な取組	ごみの適正処理の推進	根拠法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の2 松山市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例 松山市一般廃棄物処理基本計画、松山市一般廃棄物処理実施計画			
取組みの柱	処理施設の更新・維持管理					
目的・背景	≪目的≫ 松山市一般廃棄物処理基本計画に基づき、市民等から排出されたごみの資源化等を行う施設である、中島リサイクルセンターの運営管理及び維持管理を行う。 ≪背景≫ 平成17年の合併により、中島町から移管したことによる。					
対象・内容	≪対象≫ 中島リサイクルセンターの各施設 ≪内容≫ ①「缶・びん類」「プラ・ペット類」「金物・ガラス類」は、選別・圧縮・梱包などの作業を行ったうえで搬出する。 ②「粗大ごみ」「埋立ごみ」「水銀ごみ」「紙類」は、選別・分別などの作業を行ったうえで搬出する。 ③「可燃ごみ」などは、一時保管し搬出する。					

2. 事業実施【Do】

2. 事業実施【Do】		会計	一般会計	款	衛生費	項	清掃費	目	塵芥処理費
事業費／財源		令和3年度	令和4年度	令和5年度		主な経費 (千円) 【R4 決算】	プラスチックバール運搬 業務委託料		2,429
予算 (千円)	事業費計	16,079	19,315	20,904			紙類の売却に伴う運搬業 務委託料		2,176
	国費・県費						計量器更新工事費		6,853
	市債								
	その他	2,401	2,558	3,521					
	一般財源	13,678	16,757	17,383					
決算 (千円)	事業費計	12,784	18,571			主な取組 内容 【R4】	・中島地区から発生した一般廃棄物の再資 源化 ・適正な施設の運営、維持管理		
	国費・県費								
	市債								
	その他	3,589	6,015						
	一般財源	9,195	12,556						
人役	正規職員	2.3	2.2	2.2		特記 事項			
	その他	8.0	8.0	8.0					
	合計	10.3	10.2	10.2					

3.事業評価(検証・改善)【Check・Action】

種類	指標名		区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	目標の達成又は未達成要因の分析 (令和4年度)	
	目指す方向性	単位							
活動指標	中島リサイクルセンターでの資源化量		目標	—	1,122	1,368	3,258	施設を適正に運営・維持管理することで、概ね目標とする資源化量を達成することができた。	
			実績	842	1,098				
	累計で増	ton	達成率	—	98%				
成果指標	中島の資源化率		目標	20.2	20.5	20.9	25.7	施設を適正に運営・維持管理することで、目標とする資源化率を達成することができた。	
			実績	29.3	27.2				
	累計で増	%	達成率	145%	133%				
事業評価	評価	期待した成果をあげることができた。							
	理由	施設を適正に運営・維持管理することで、中島地区の一般廃棄物の資源化を目標値まで達成できた。							
課題	施設及び諸設備(作業車両含む)の経年劣化への対応。					今後の方向性	現行のまま継続	左記の理由	本事業の実施により、適正な施設の運営・維持管理ができており、中島地区の一般廃棄物が、再資源化等により適正に処理できているため。